

2025 SUMMER

Vol.489 —

7月号

Dokkyo Picks

獨協と未来の架け橋となる広報誌

獨協大学の国際性
キャンパス内の異文化体験

2つの新しいプログラム

卒業生に聞く！
未来への羅針盤

CAMPUS NEWS

教育環境改善のための取り組みについて

ぶらりらいぶらり

DOKKYO SDGs

日本語学習サポーターと交換留学生在語る

キャンパス内の異文化体験



日本語学習サポーターとは？

日本語学習サポーターは、半年または1年間本学で学ぶ交換留學生を対象に、日本語学習の支援をすることを目的として活動しています。日本語教育オフィスが窓口となって、日本語を教えることに関心を持つ學生を日本語学習サポーターとして募集しています。

今回は、週に1度、ICZに集まって活動を行う日本語学習サポーター2名と交換留學生のチームに話を聞きました。

さん 私は昨年オーストラリアへ留学し、海外で生活する大変さを経験しました。それもあり、今度は私が留學生をサポートしたいと考えていました。そんなとき、日本語教育オフィスからのお知らせでこの活動を知ってサポーターに応募。今年の4月から活動しています。

さん 今、この3人でチームを組んでいます。毎週決まった曜日にICZで待ち合わせをして、さんの日本語の宿題を手伝ったり、大学生活や旬の話題を話したりと、楽しく活動しています。

さん 留學生の日本語の授業に参加して、プレゼンテーションの準備やディスカッションの一員になることもありますよ。

さん 私は日本語をもっと学び、上手に話せるようになりたいと思い、3月から半年間の予定でカナダから日本へ留学しています。2人とは、日本語の授業や宿題のサポートだけでなく食事や観光にも行くなど、とても仲良くしています。



んでいます。

さん

さん はじめ日本語学習サポーターのみなさんとは、友達として、一緒にいろいろな体験ができるのが魅力です。もっと会話をしたい、日本での思い出をつくりたいと考えています。

本誌に載せきれなかった記事をnoteに掲載しています！ぜひご覧ください！

note



得意を活かして
アンバサダーやピアサポーターに



現在、アンバサダー／ピアサポーターとして活躍中の交換留學生と學生たち

施設もサポートも充実！
獨協の外国語学修の支援体制

獨協大学には、學生たちの外国語学修を支援する環境と仕組みが整っています。A棟3・4階にあるICZ (International Communication Zone) は、外国や外国語の文化に触れ、交流することのできるコミュニケーションスペースです。3階にはドイツ語、英語、フランス語の言語ルーム、4階には多言語多文化コミュニケーションゾーンがあり、無料で参加できる少人数制の会話レッスン(チャットルーム)や、検定試験対策の語学講座も実施され、多くの學生たちににぎわっています。外国人留學生も多く利用するため、キャンパスにしながら異文化交流ができます。また各種イベントの企画や広報活動などを行うアンバサダー、外国語学修や外国文化について同じ學生の目線から相談に応じるピアサポーターなど、数多くの學生たちが自分の得意分野を活かしながら活躍し、学修支援の一翼を担っています。

DOKKYOの海外留学

留学支援の窓口は国際交流センター

學生の留学支援を行うのは、A棟2階にある国際交流センターです。留学制度や留学先の紹介、疑問や不安など、留学に関するさまざまな相談に対応しています。留学前後に必要な手続き、出席必須の研修など諸条件もあるので、留学を検討する學生は早めに国際交流センターで確認を進めましょう。

幅広い選択肢から、目的に合った海外体験を

現在、獨協大学と學生派遣(長期・短期)協定を結ぶ大学は18カ国・地域55校*、認定留学先の大学は累計258校にも上ります。専門分野を深める長期留学プログラム、語学力をより高める短期留学プログラムを用意し、一人ひとりの學生の目的に合った海外体験・留学を推奨しています。

* テンプル大学ジャパンキャンパスを含む

TOPIC

長期留学をサポートする獨協大学国際奨学金を2025年度から拡充

その1▶ グローバルチャレンジ奨学金*1を新設!

自ら社会に変革を起こす人材育成を目的に、交換留學生に対し年間最大120万円(月額10万円上限)を支給。対象人数は年間5名まで。

その2▶ 交換留學生*1/認定留學生の奨学金月額を増額!

当該奨学金の月額を従来の20,000円から30,000円に増額。

その3▶ 外部奨学金との併給が可能に!

大学推薦が必要なJASSO等外部奨学金と獨協大学国際奨学金の併給*2が可能に。

*1 交換留學生奨学金とグローバルチャレンジ奨学金との重複受給は不可

*2 外部奨学金が併給基準を定める場合は、その定めによる。

海外留學者対象の奨学金制度の詳細はこちら▶



キャリアを深く考える
きっかけになりました。

さん



履修のきっかけは？

ツーリズムについて研究とキャリアの両方から学べる点に魅力を感じたからです。入学時はツーリズムへの関心が強かったのですが、ツーリズムに関わる仕事を通じて経済や国際関係などさまざまな分野の学びに触れるうちに興味の幅が広がっていきました。そこで、これらの多様な学びを将来どのように自分のキャリアに活かせるかを考えるきっかけになると思い、履修を決めました。

面白いと感じる科目は？

「ツーリズム・キャリア実習」です。自己分析を行ってキャリアプランを立てたり、ホテルや航空会社などで働く方々から現場の話の聞いたりします。専門的かつ実践的な内容が多く、興味のあった航空業界だけでなく、鉄道やホテルなど幅広い業界にも関心を持つように。一つの道にとらわれず、視野を広く持ってキャリアを考える大切さを学んでいます。

キャリアプランを立てる手法を
学びました。

さん



履修のきっかけは？

ホテルや旅行会社など興味を持っている仕事について、実際に現場で働く方々から話を聞ける良い機会だと思ったからです。また、より専門的にツーリズムを学んで、自分のキャリアプランを明確にしたいと思い履修しました。

面白いと感じる科目は？

「ツーリズム・キャリア実習」です。自己分析を行い、自分の強みや弱みをつかむことができました。また、キャリアプランに対する考え方を学び、興味・方向性が変わったら途中で変更しても良いと知り、キャリアチェンジについてもポジティブに考えられるように。早い段階でこの授業を受けられたので、今後は興味のある職業に関する知識を増やしたり、インターンシップで経験を積んだりしようと考えています。また、留学して実践的な英語も身につけたいです。

ツーリズムをとらえる視点が
変化しました。

さん



履修のきっかけは？

1年次に受けたツーリズムの授業を通じて観光への興味がより高まり、もっと詳しく学んで就職活動にも活かしたいと考えたからです。ツーリズムを学ぶまでは観光に良いイメージしかなかったのですが、オーバーツーリズムや伝統文化の商品化など、複雑な問題にも着目して考えるようになりました。

面白いと感じる科目は？

「English for Tourism and Hospitality I」です。空港での出入国時や海外での接客時などで使われる英語を学びます。アルバイト先で海外からのお客様と接する際、習ったフレーズが通じるとうれしいです。また、事業の成り立ちや経営について学ぶ「ホテル・クルーズ事業論」「航空事業論」も、将来のキャリアを考える上で生きてくると思います。語学とツーリズムをかけ合わせ、体系的に学べるプログラムです。

外資系企業でも通用する
ビジネス英語を習得したいです。

さん



履修のきっかけは？

幼い頃から英語に触れる機会が多く、高校生のときには短期留学も経験。そのため、留学よりも海外インターンシップに強く惹かれました。海外で働くことは学生時代にしかできない経験であり、帰国してから始まる就職活動のことを考えると、希望している外資系企業が求める高い語学力やスキルを身につけたいと考えました。

どのような力を身につけたい？

メーカーでのPOP制作などに興味があるので、SNSマーケティングを行う企業でのインターンシップを希望しています。担当の先生からは、事前に専門用語の知識を持っておくと良いと聞いており、実務が始まる前に研修やセミナーも受講するため、しっかり準備したいです。ビジネス英語を習得し、将来に生きる力をつけたいです。

高い海外志向にもフィットする
プログラムです。

さん



履修のきっかけは？

英語の勉強を長年続けていて、中学、高校のときには留学も経験したので、大学ではスタディ型よりもワーク型での海外経験を積みたいと考えていたからです。また、これからの社会で多様な人々と交流して生きていくには英語が不可欠なので、積み上げてきた自分の英語力がどの程度通用するか試したいという気持ちもありました。

将来どのように活かしていきたい？

将来、どんな仕事をしたいか具体的な目標はまだありませんが、SNS運用やマーケティングに興味があるので、インターンシップ先のオーストラリアではそういった仕事に関わりたくです。海外でのインターンシップを通じて実践力を身につけ、ゆくゆくは海外で働くことや起業なども視野に入れています。キャリアの可能性が広がるのが楽しみです。

海外経験がなくても、
安心して参加できます。

さん



履修のきっかけは？

入学前は留学を考えていましたが、長期留学の場合、学びたい分野に英語で取り組むことになります。現時点で、まだ学びたい分野は決まっていなかったのですが、本プログラムなら英語の習得だけでなく、海外のビジネス経験も積めるので、将来のキャリアに役立つと思い、履修を決めました。

プログラムに期待することは？

プログラムの参加に必要なTOEIC®のスコアは、学内で実施されるIPテスト(オンライン版)のスコアを活用できるので特別な準備の必要がありません。インターンシップ先は旅行、ホテル、ブライダル、教育、日本語指導の企業等から興味のある業態を選び、面接でマッチングを図ります。プログラムを通して、さまざまなバックグラウンドを持つ人たちと関わり、その文化などを学びたいです。



これからの時代のツーリズムを学ぶ ツーリズム・キャリア・プログラムに挑戦！

(外国語学部 交流文化学科)

ツーリズム＝観光だけでなく、人々の移動と体験が生み出す文化的・社会的な現象を多角的に理解し、実践力を修得するプログラム。交流文化学科が指定するツーリズム部門の専門科目を履修すると、本プログラムの修了生として認定され表彰されます。



世界で通用する知識やスキルを身につける 海外実践プログラムに参加！

(国際教養学部 言語文化学科)

学修成果を外の世界で試し、その結果を大学に戻して学びを深めていくサイクル型の学修スタイルを取り入れたプログラム。海外企業でのインターンシップや、海外大学の学生と一緒にオンラインで授業を受け、協働して課題に取り組む演習などを行います。

地域振興にも取り組む客室乗務員

夢や目標を強く持ち続ければ

チャンスは必ずやってくる



全日本空輸株式会社
客室乗務員
鳥取市鹿野往来交流館 童里夢
観光振興部
小口 ひとみさん
(英語学科 2015年度卒業)

客室乗務員(CA)を目指し、語学教育が充実する獨協大学に進学。在学中に英語、中国語など6言語を習得し、ゼミやエアライン講座で航空人としての心構えを学ぶ。2024年から鳥取県に移住し、CAの仕事に加えて地域の名産を使った商品開発、イベント企画、情報発信など多岐にわたる業務にも携わる。

各業界で、時代をリードする存在として活躍する卒業生にインタビュー。今回は、国内線・国際線の客室乗務員(CA)としてキャリアを積みながら、会社の制度を活用して地方移住し、兼業で地域振興にも取り組む小口ひとみさんにお話を伺いました。

現在のワークスタイルを教えてください。

入社以来、国内線・国際線に勤務していますが、キャリア8年目の2024年2月、会社の制度を活用して鳥取県に移住し、鳥取市鹿野町の観光案内所でも業務に携わっています。現在は、CAの仕事が7割、観光案内所での仕事が3割程度です。

仕事の内容や心がけていることを教えてください。

CAの仕事はリスクを先読みして安全や安心を守ること。常に気を張って五感をフル稼働させています。また、マネジメント層として後輩の指導や、上下層の架け橋となることを心がけています。観光案内所では、鹿野町の名産であるそば粉を使った新商品開発、SNSやラジオでの地域の魅力発信、イベント企画・運営などに関わっています。

CAと地域振興の仕事の両立において大変な部分はどこでしょうか。また、やりがいを教えてください。

スケジュール調整と体調管理が大変ですね。例えば先月は、バンコク、ロサンゼルス、ニューヨークや国内線のフライトの合間に鳥取に戻って地域振興の仕事をしていました。時差や深夜勤務もあり、なかなかハードです。でも、CAの仕事では、お客様をよく見てアプローチしたことに感謝の言葉や笑顔をいただく瞬間、クルー同士の円滑なチームワークに貢献できたときなどにやりがいを感じます。一方、地域振興の仕事では、商品開発やイベント運営など、これまでやったことのない仕事の段取りや企画書作成、周囲とのコミュニケーションの取り方など、周りの方々にサポートし

ていただき挑戦することができています。ずっとやってみたかった農業体験の機会も多く、新鮮な学びがある日々です。

学生時代に力を入れて取り組んだことを教えてください。

やはり勉強です。多言語学習ができる獨協大学ならではの環境を活用し、中国語・ドイツ語・イタリア語・韓国語・ロシア語を学びました。特に中国語は、今もフライトで役立っています。簡単なあいさつや単語がわかるだけのお客様とコミュニケーションが取れ、満足度が高まるので、CAを目指す学生の方は積極的に学んでほしいですね。また、異文化コミュニケーション関連の授業も多く取り、視野が広がりました。

在学中、卒業後のキャリアを見据えてゼミやエアライン講座を受講されたのでしょうか。

はい。学生時代は、CAという目標に向けて学びをつなげていった時間でした。JALに長年勤務された経歴を持つ教授のゼミに入って航空やツーリズムを学んだこと、3年次後半からエアライン講座を受講し、航空人として大切なマインドを身につけたことすべてが、今の私の礎になっています。卒業論文で「個性を活かしたホスピタリティ」をテーマにおもてなしについて考察したことも、仕事で役に立っています。

獨協大学のエアライン講座にはどのような思い出がありますか。



先生方にとってもお世話になったことです。人とのつながりを大切にし、常に感謝の気持ちを持つといった、航空業界の就職活動のためだけでなく、社会で活躍するための心構えを教えていただきました。そのときの恩返しができれば、と卒業後から現在に至るまで、エアライン講座で話をしたり、学生の相談に乗ったりしています。縦のつながりも強く、毎年、講座の卒業生、現役生と一緒にホームパーティーをするんです。所属する航空会社や年齢の違いにとらわれず助け合える、素晴らしい仲間です。

社会で活躍するために、在学中にやっておくとよいことを教えてください。

今の環境や人間関係を大切にしてほしいですね。獨協大学の良さは、学生も先生も立場や年齢の壁を感じさせない人が多いところ。私自身、大学の友人、サークルの仲間、お世話になった先生、職員の方々と今でもつながりを持ち、近況報告や情報交換をさせてもらっています。そこから思いがけない縁が生まれることもあります。また、夢や目標は強く持ち続けてください。私は料理や裁縫、

AFTER TALK

個性を活かし、未経験の仕事にも積極的に挑戦！

地域の名産であるそばを使った新商品開発も小口さんの仕事。これまでに、そば粉を使ったフロランタンを開発してきました。得意な料理の腕を活かしています。鹿野産100%のそば茶(写真)のパッケージには、小口さんが描いた絵が使われています。



本誌に載せられなかった記事をnoteに掲載しています！ぜひご覧ください！

no+e



大学院説明会参加者募集

7月と10月に大学院説明会を研究科別に開催します。現役大学院生から直接、大学院の様子を聞くこともできます。少しでも興味がある方は、ぜひご参加ください(学年・学部不問)。

- 法学研究科 7月3日(木)、10月28日(火)
 - 外国語学研究科 7月2日(水)、10月29日(水)
 - 経済学研究科 7月4日(金)、10月30日(木)
- 開催時間:12:50~
開催方法:オンライン方式(Zoomミーティング利用)
※右記よりお申込みください(要事前予約)。



(申込受付)

2026年度博士前期課程入試日程

入試種別	出願期間 (郵送・消印有効)	試験日	合格発表日
9月入試 (一般・学内推薦・社会人)	8月25日(月)~9月3日(水)	9月27日(土)	10月2日(木)
2月入試 (一般・学内推薦・社会人・特別)	2026年 1月7日(水)~1月15日(木)	2月11日(水・祝)	2月13日(金)

問合せ先:大学院事務室事務課(4棟1階)
TEL:048-946-1666 E-mail:daigakuin2@ml.dokkyo.ac.jp

夏季休業期間の窓口業務 【8月2日(土)~9月23日(火・祝)】

夏季休業期間中の学内施設の利用、店舗の営業および同窓会事務室の開室状況については、7月中旬に大学ホームページをご確認ください。

9月卒業式・学位記授与式

- 日時:9月20日(土)10:00~(入場開始 9:30)
 - 場所:天野貞祐記念館 大講堂
 - ※式典後の各卒業生への学位記授与は、学部別に別室にて行います。
 - ※学部別の学位記授与終了後、祝賀会を学生食堂で行います。
 - ※式典へはご家族及び保証人は2名まで出席が可能です。
 - ※卒業生は、当日学生証をご持参ください。
- 詳細は改めてPorTaII及びホームページでご確認ください。

第52回学生懸賞論文 募集開始

- テーマ
あなたの研究、教えてください
- 応募締切 10月15日(水)17時
- 応募方法
大学ホームページより応募してください。
- 賞
最優秀賞 賞状及び副賞10万円
優秀賞 賞状及び副賞5万円
※応募者全員に記念品(QUOカード千円分)を贈呈
- 入選発表
本学ホームページ、掲示板で発表。
『獨協大学ニュース』に掲載予定。
※最優秀賞の要約を『獨協大学学報』に、
最優秀賞と優秀賞の要旨を本学ホームページに掲載予定。
- 問合せ先
総合企画課 学生懸賞論文係 kronbun@stf.dokkyo.ac.jp



(学生懸賞論文応募)

学費 「Web口座振替受付サービス」 のご案内

このサービスは、ご自宅のパソコン等を使って、学費の納入方法を〈銀行振込〉から〈口座振替〉に変更するものです。これにより、銀行での振込の手間と手数料がなくなります。是非、この機会にご利用ください。



(Web口座振替受付)

【Web口座振替受付サービスの概要】

- ★ Web画面によるオンライン手続(銀行届出印不要)
- ★ 口座振替日:春学期4月12日、秋学期9月12日
- ★ 8月20日までにお手続きいただければ秋学期の学費から口座振替となります。
- ★ 手数料は大学負担です。

獨協大学及び 獨協学園の財政開示について

獨協大学及び獨協学園全体の財政状況は、7月中旬に大学ホームページで開示します。
こちらをご覧ください。
URL <https://www.dokkyo.ac.jp/about/finance/>



2025年度春学期「授業評価アンケート」 にご協力ください

期間:2025年7月7日(月)~7月22日(火)
対象:全学生
回答方法:PorTaII(「履修」>「授業評価(教育環境改善)アンケート回答・参照」)で回答(履修している全科目について回答ください)
所要時間:約30分
問合せ先:自己点検・評価室(6棟1階)
TEL:048-946-1824
E-mail:jikotenken@stf.dokkyo.ac.jp
詳細は、PorTaII→「ダウンロードセンター」→「学生用フォルダ」→「授業評価(教育改善)アンケート」の資料をご確認ください。

犬井正名誉教授が瑞宝中綬章受章

令和7年春の叙勲で、獨協大学元学長の犬井正名誉教授が、瑞宝中綬章を受章された。5月21日には、勲章伝達式(ホテルニューオータニ東京)、拝謁(皇居)が行われ、犬井先生も出席された。また、受章を祝し、6月17日に本学で祝賀会が開催された。



左から、鈴木淳一副学長、山路朝彦名誉教授・前学長、犬井正名誉教授・元学長、前沢浩子学長、倉橋透副学長

犬井先生の専門は、農業・農村地理学で、教育・研究両分野での活躍が高く評価されている。本学においては、2012年4月から2020年3月まで第10代学長を務めた。新学科の設置、キャンパス再編計画の実行、創立50周年記念館(西棟)建設をはじめとするエコキャンパス・プロジェクトの推進など、数々の大学改革に取り組まれた。

第22回 国際交流フェスティバル 「草加国際村一番地」 開催



6月8日、第22回 国際交流フェスティバル「草加国際村一番地」(主催・草加市国際交流協会、共催・獨協大学)が、本学キャンパスで開催された。

当日は約5000名が来場し、世界各国出身の草加市民が自国の文化、料理、音楽、ダンスや民族衣装を披露し、来場者との交流を深めた。

本学からも交流文化学科(外国語学部)、米山昌幸ゼミ、高安健一ゼミ(経済学部)、国際親善倶楽部(DIAC)、英語会(E.S.S)が参加し、イベントを盛り上げた。

第52回 創造祭 開催

5月28日~31日の4日間、第52回創造祭が、【輝煌煌舞】をテーマに掲げ開催された。創造祭とは、文化会団体を中心に展示発表、演奏会やステージ発表を行う大学祭の1つ。開会式では冒頭に前沢学友会会長(学長)から祝辞があり、続く実行委員長の開催宣言、そ

の後に書道研究会がパフォーマンスを披露。学生センター1階や小講堂、雄飛ホールでは学生団体による展示やダンス等を披露した。土曜日には獨協大学コミュニティスクエアを使用し多くのイベントが行われた。

詳しくはnoteをご覧ください。



獨協大学前<草加松原>駅西側地域における まちづくり協定 5者代表者による意見交換会を開催

4月22日、獨協大学において、草加市、獨協大学、独立行政法人都市再生機構(UR都市機構)、東武鉄道株式会社、トヨタホーム株式会社の5者代表者による、獨協大学前<草加松原>駅西側地域におけるまちづくりに関する意見交換会が行われた。

上記5者は、獨協大学前<草加松原>駅西側地域における産官学連携によるまちづくりに関する協定書を2024年5月に締結し、「多世代が繋がり、学び、誰もが活き活きと暮らせる未来を育む[WELL BIND(ウェルバインド)]」

をコンセプトに活動を行っている。

当日は、山川百合子草加市長、前沢浩子獨協大学学長、田代真琴UR都市機構東日本賃貸住宅本部関東地域本部長、岩瀬豊東武鉄道株式会社生活サービス創造本部長、尾崎彰彦トヨタホーム株式会社分譲開発事業部販売企画室長の5者代表者が協定締結後の活動の成果や課題を共有すると共に、今後の活動の方向性について意見交換を行い、引き続き5者が連携協力してまちづくりを推進することを確認した。



左から、トヨタホーム株式会社尾崎氏、東武鉄道株式会社岩瀬氏、前沢学長、草加市長山川氏、UR都市機構田代氏

本学の先生方が
執筆された新刊情報をお届け！

2025 SUMMER

03

三宅 舞(ドイツ語学科専
任講師)分担執筆
『演劇と民主主義
—演劇学と政治学のイン
タラクティブ』
三元社 2025年2月
本体3400円(税別)

民主主義政治を実際に機能させている「代理」に演劇性が含まれるように、演劇と民主主義はその本質において複雑に交錯している。民主主義への無力感と絶望が高まる世界で、演劇の仮構性・虚構性を活かした政治的発想の転換を11人の演劇学者と政治学者が模索します。

07

師岡 カリーマ・エルサム
ニー(言語文化学科非常
勤講師)著
『これから始める アラ
ビア語入門』
NHK出版 2025年2月
本体3600円(税別)

アラビア語を学びたい人は、まずはこの1冊から。教室で講師といっしょに学習しているような感覚で読み進めてもらえる入門書、それが本書のコンセプトです。はじめてアラビア語を学ぶ人でもゼロから始められます。

11

関戸 冬彦(言語文化学科
非常勤講師)分担執筆
『英米文学における「危
機」を読み解く
ダモクレスの剣の変容』
音羽書房見聞堂 2025年3月
本体4200円(税別)

17名の著者がその専門分野で、「危機」をテーマとした、あるいはそれに関連した英米文学作品を論じます。17編の論考は感染症、戦争、環境、食糧・エネルギー、ジェンダー・人種、内面、宗教、分断の八つの「危機」に分類し収録。

15

本田 浩邦(経済学科教
授)著
『アメリカ危機の省察』
大月書店 2025年4月
本体2700円(税別)

トランプのバラノイア政治の本質はなにか?危機の構図を政治・経済・宗教・外交など総合的にとらえ、資本主義システム、権力構造など近現代の経済的、政治的背景を分析し、リベラルや左派が対峙すべき課題をも描き出します。

04

永野 隆行(交流文化学科
教授)分担執筆
『現代オーストラリア政治』
法律文化社 2025年2月
本体2900円(税別)

オーストラリアの政治・社会についての入門書。歴史・地理とといった基礎知識を押さえたうえで、現代の政治制度や社会状況、国際関係を学ぶ。国際的にも重要な国でありながらも政治・社会についてよく知られていないオーストラリアをわかりやすく解説。

08

市原 博(経済学科教授)
分担執筆
『鉄道百五十年史
第一巻 創業から国有鉄
道の誕生まで』
交通協会 2025年2月
本体10000円(税別)

『鉄道百五十年史』は、初めての総合鉄道史として、官鉄・国鉄、JR、民営鉄道、公営鉄道の全てにわたる我が国の鉄道150年の経営と技術の歴史を記述した大型企画です。

12

安原 陽平(法律学科教授)
分担執筆
『インクルージョンを展望する
カリキュラムづくり』
ミネルヴァ書房 2025年3月
本体2600円(税別)

カリキュラム論は教育学や教育実践の領域ですすでに多くの蓄積がありますが、これまでのカリキュラム論(教育課程論)では、インクルージョンの視点が十分に語られてきませんでした。本書では、インクルーシブ教育の本質をおさえ、子どもの自立を支援するためのカリキュラムづくりのあり方を示します。

16

大藤 紀子(国際関係法学
科教授)分担執筆
『憲法五重奏』
有信堂高文社 2025年4月
本体3200円(税別)

近代立憲主義とその現代的展開という歴史の流れを重視しつつ、現在の多岐にわたる問題を柔軟な思考で分析する五人のコラボ。入門者の体系的学習から中上級者の論点復習にまで幅広く活用できる充実した構成内容。判例・学説がさらに充実した最新版。

01

大谷 基道(総合政策学
科教授)分担執筆
『水害多発時代の流域治水
—自治体における組織・法制・
条例・土地利用・合意形成—』
第一法規 2024年12月
本体3200円(税別)

自治体が、治水から流域治水への水害対策の変化に対応した施策の立案、実施ができるよう、自然機能の活用や自然と人の生活との共生を目指した環境づくりに基づく政策立案の進め方、地域住民との合意形成、組織・人員体制の考え方等、先行事例を交えて解説。

05

松岡 格(言語文化学科教
授)分担執筆
『台湾の歴史大全
—基礎から研究へのレファ
レンス』
藤原書店 2025年2月
本体4400円(税別)

オランダ、清朝、日本、アメリカ、中国など諸勢力の狭間を生きてきた台湾という空間の、先史時代から現代に至る歴史を、通史と事典的記述を両輪に、65名の気鋭の執筆陣が描きます。

09

明田川 聡士(言語文化学科
非常勤講師)訳(林 庭毅 著)
『裏組織の脚本家』
書肆侃侃房 2025年3月
本体2100円(税別)

台北・西門町にある浮木(フームー)という居酒屋には、闇の組織「ワラビ」のメンバーが潜伏。屋根裏の小屋「ワラビの部屋」に「新しい人生の台本」を抱えて入れれば、人生を変えることができる。ただし、それには条件があった……。台湾発のSFファンタジー。

13

堀川 宏(言語文化学科
准教授)分担執筆
『専門書を読む
—教員と学生でつくる10
講座—』
ミネルヴァ書房 2025年4月
本体3000円(税別)

読書離れが進むとされる今、どうすれば大学生に専門書を読ませ、内容を理解させることができるのか。ペアで読む、輪読、要約、書評執筆など、知恵を絞った教員10人の格闘の記録。分担執筆として、獨協大学で「イリアス」の翻訳を読む講義の実践をまとめました。

17

松本 健太郎(英語学科教
授)共編著
『都市とポスト文学の詩学
浸食するフィクション／拡
張するリアル』
ナカニシヤ出版 2025年5月
本体3000円(税別)

都市とコンテンツの創発を捉えるために、メディアジャンルを越境する近現代の多様なフィクション・コンテンツ＝ポスト文学の作品群と都市との相互作用を読み解く珠玉の17章。

02

アダム・ゾーリンジャー(英
語学科教授)分担執筆
『A Companion to Nō
and Kyōgen Theatre
(Vol. 2)』
Brill 2024年12月 US\$190

能楽と狂言は、世界で最も長く上演され続けている演劇形式のひとつであり、日本の芸術、文化、社会、歴史と深く結びついています。これらの伝統の重要な要素をまとめ、幅広い分野の日本人および外国人の専門家による寄稿によって、新たな洞察を提供します。

06

木島 泰三(言語文化学科非
常勤講師)訳
(ブルース・N・ウォラー 著)
『道徳的責任の論議
責めても何もよくなりません』
平凡社 2025年2月
本体7200円(税別)

科学的世界像を真剣に受け止める「自然主義」の立場から「道徳的責任」の不可能性とその虚偽を訴える。同時に「自由意志」の両立論を支持するユニークな立場を打ち出した必読の書。

10

木島 泰三(言語文化学科
非常勤講師)共訳
(キース・E・スタノヴィッチ 著)
『THE ROBOT'S REBEL-
LION ロボットの反逆』
ダイヤモンド社 2025年3月 本体4400円(税別)

『利己的な遺伝子』『ファスト&スロー』に連なる学問の枠を超えた伝説的名著が復刊。私たち人間は本当に、遺伝子の乗り物に過ぎないのか?AIの時代にこそ読みたい一冊。

14

水口 良樹(言語文化学科
非常勤講師)共編著、高
際 裕哉(言語文化学科非
常勤講師)分担執筆
『日本から考えるラテン
アメリカとフェミニズム』
中南米マガジン 2025年4月
本体1500円(税別)

文学、哲学、政治学、文化人類学、地域研究といった各分野の専門家が、ラテンアメリカのフェミニズムシーンを5つの章と17のコラム、各ジャンル資料集で多角的に描き出した類書のない画期的入門書。

18

柿田 秀樹(英語学科教
授)、松本 健太郎(英語学
科教授)共編著
『ポストヒューマン時代のコ
ミュニケーション学
モノと主体の関係を探る
直すための視点と事例』
ナカニシヤ出版 2025年5月 本体2700円(税別)

モノを中心に据え「人間」以後の「コミュニケーション」を考えるために、多様なモノと主体の関係からコミュニケーションを論じる1冊。

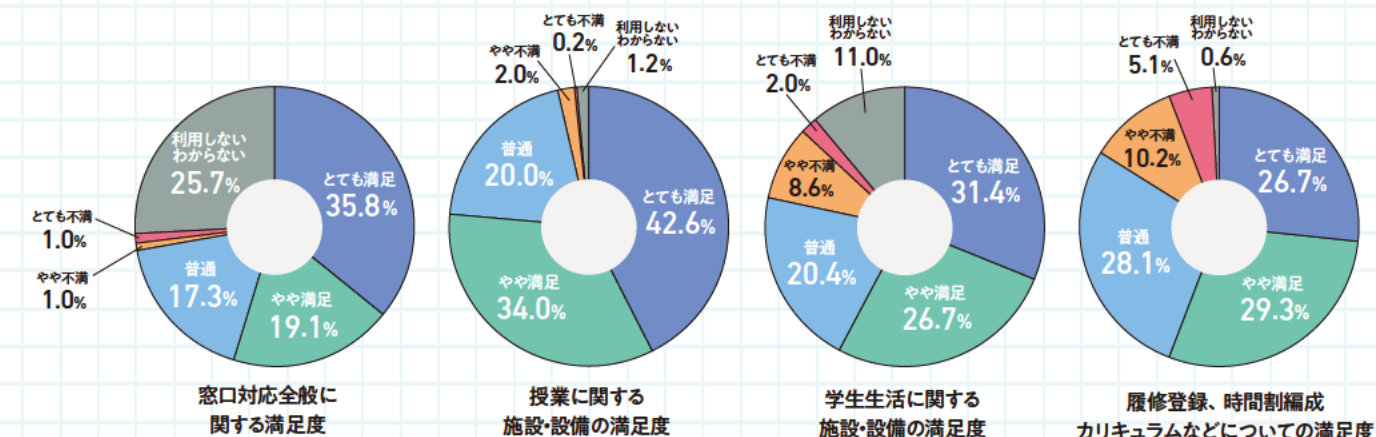
2024年度

教育環境改善のための取り組みについて

獨協大学では、隔年で「学生による教育環境改善のためのアンケート」を実施しています。

2024年度末に実施したアンケート結果についてご報告いたします。

【2024年度「学生による教育環境改善のためのアンケート」】



◆実施概要

8,169名(学部生、大学院生、聴講生など)を対象にPorTaIIで実施しました。
回答率は約6.0%で491名から回答いただきました。

◆アンケート結果概要

各設問に対する回答者全体の満足度の結果は、グラフの通りです。
詳細は、獨協大学HP「獨協大学の自己点検・評価活動」のページ内にある「学生による教育環境改善のためのアンケート」をご参照ください。

<https://www.dokkyo.ac.jp/about/selfmonitor/selfmonitor.html>

ぶ-ら-り-ら-い-ぶ-ら-り

Vol.115

図書館をフル活用して、語学力アップを目指そう!

「図書館では、どんな外国語学習ができるか知りたい!」という学生は必読。
今回は、語学力アップにオススメの資料や施設を紹介します。

📖 多読本(リーダー) 3階

- ・辞書を使わずに本をたくさん読むことで、語学力を向上させる学習法、「多読」の資料です。
- ・英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語があり、初級から上級までのレベルを取り揃えています。
- ・初級から読み始めて、段階的にレベルアップしていくことで、語彙力や読解力が向上します。

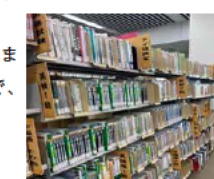


英語は電子版もあります!
詳細はこちら



📖 外国語検定コーナー 3階

- ・英検、TOEIC®、TOEFL®、独検、仏検など、各言語の検定試験問題集、付録CD、テキストがあります。
- ・過去問題から最新版まで全て貸出可能なので、試験対策もばっちり。



📖 日本学コーナー 1階

- ・日本語(対訳)、中国語、英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語で書かれた日本に関する資料を集めたコーナーです。
- ・日本にきた留学生が日本の事象について学ぶだけでなく、外国語で日本を紹介するための参考資料としても役立ちます。面白い資料が揃っているので、是非手に取ってみてください。



📖 発話トレーニングブース 3階

- ・設置PCのeラーニングシステムや音声資料を使って、発音・発話練習ができる施設。教科書の音読などもOKです。
- ・100分間まで利用できるの、じっくり発音・発話練習に取り組みたい方にぴったり。



📖 AVコーナー 3階

- ・不朽の名作から話題作まで、バラエティに富んだ各国の映像作品を取り揃えています。
- ・視聴覚資料は、AVコーナーでのみ利用可能です。海外の映像作品を視聴することで、楽しみながら語学力をアップできます。



COVER STORY

学生・教職員が
集い、学び・交流する、東棟

7月号の表紙は、「語学の獨協」を象徴する大きな地球儀が印象的な東棟ロビーです。東棟は、2010年に竣工したガラス張りのブリッジで築いた地上5階建て、環境にも配慮された省エネルギー推奨施設。「埼玉県環境建築住宅賞」優秀賞を受賞し、国土交通省「住宅・建築物省CO₂推進モデル事業」にも採択されるなど、高い評価を得ています。また大・小併せて65教室を備え、学修・相談機能も充実しています。学生・教職員が集い、学び・交流する場にもなっています。



2024年度のシンポジウムの様子



環境共生研究所

～環境と共生する持続可能な社会の創生を目指す～

環境共生研究所は、環境と共生する持続可能な社会の創生に関して調査・研究を行い、本学および社会における環境に関する調査・研究・教育に寄与することを目的としています。

2024年度は6月に行ったシンポジウム「武蔵野の落ち葉堆肥農法から考える食と農と環境」をはじめ、11月に講演・討論会「第10回フクシマの未来を考える～大学生のうちに知っておくべきこと～」、シンポジウム「第10回伝右川再生会議」を行いました。また、環境に関する講座を全学総合講座「環境学I」、およびオープンカレッジに提供しました。



〈環境共生研究〉

予告！

第61回雄飛祭が開催されます。

【開催日】11月1日(土)・2日(日)

今年のテーマは～Together as One～

多くの人が感動や喜びを分かち合えるテーマを設定いたしました。学内に並ぶ数多くの模擬店、煌びやかなステージで行われる演奏やダンス、ゼミによる学術発表、ワクワクが止まらない縁日に、背筋も凍るホラーハウスなど、たくさんの企画が皆さんを待っています。ぜひお気軽にお越しください。

獨協大学学生サポート寄付金募集協力をお願い

本事業は、「よりよい社会の構築に貢献する人材」を育成すべく、国際化推進、地域連携・地域貢献、校友会活動、自律学習など、学生の活動全般を広く継続的に支援することを主眼としています。皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

※クレジットカード決済、コンビニエンスストア決済、インターネットバンキング(Pay-easy)、銀行振込等をご利用いただけます。

詳しくは、本学ホームページをご覧ください。

<https://www.dokkyo.ac.jp/donation/>



※法人の方は直接お問合せください。

所管 獨協大学総合企画課
TEL.048-946-1635

編集 総合企画課(中央棟2階) TEL.048-946-1635 kouhou@stf.dokkyo.ac.jp

学生記者 大久保 賢斗(営4年) 片柳 月奈(言4年) 金田 夏実(律4年)
[五十音順] 川合 くるみ(営2年) 島田 瑠里香(済4年) 土田 優衣(営4年)
土屋 日花莉(律4年) 原 友里恵(英4年) 柳澤 真理子(営4年)
渡邊 帆風(営4年)

略称表記(学科) 独…ドイツ語/英…英語/仏…フランス語/交…交流文化/言…言語文化/
済…経済/営…経営/環…国際環境経済/律…法律/関…国際関係法/総…総合政策



<https://www.dokkyo.ac.jp/>

次回は11月号(10月30日発行予定)です